

SolarAmp mini ヒューズ確認方法について

2013年9月発行
株式会社 電菱

1：はじめに

SolarAmp mini では接続されるシステムを安全に保護するために内部にチップヒューズを実装しています。逆接続や過電流等によりこのヒューズが溶断（切断）された場合は保証対象外となりますので、設置するときなど十分に気をつけて設置をしてください。

配線接続に関しては別途「SolarAmp mini 配線順序について」をご参照ください。

バッテリーを接続しても動作しない、もしくはバッテリーエラー表示が出るなどの場合はヒューズが溶断（切断）している可能性があります。以下に記載する方法でヒューズの確認を行ってください。

・使用する道具

- (1) ダイオード測定可能なデジタルマルチメーター（デジタルテスター）

2：ヒューズ確認方法

ヒューズが切断されているかどうか確認するには、デジタルマルチメーターを使って以下の様に測定してください。測定時は安全のため SolarAmp mini に接続されている配線をすべて外してから測定してください。

- (1) デジタルマルチメーターをダイオード測定モードにしてください。
- (2) デジタルマルチメーターのプラス（+）側のプローブを SolarAmp mini の負荷端子のプラス（+）側に当ててください。
- (3) デジタルマルチメーターのマイナス（-）側のプローブを SolarAmp mini のバッテリー端子のプラス（+）側に当ててください。
- (4) 図1の様にヒューズが正常（切断していない）であれば 0.3～0.7V 程度のダイオード順方向電圧が測定できます。ヒューズが切断されていた場合この電圧が測定できません。（プローブの解放時と同じ状態になります）

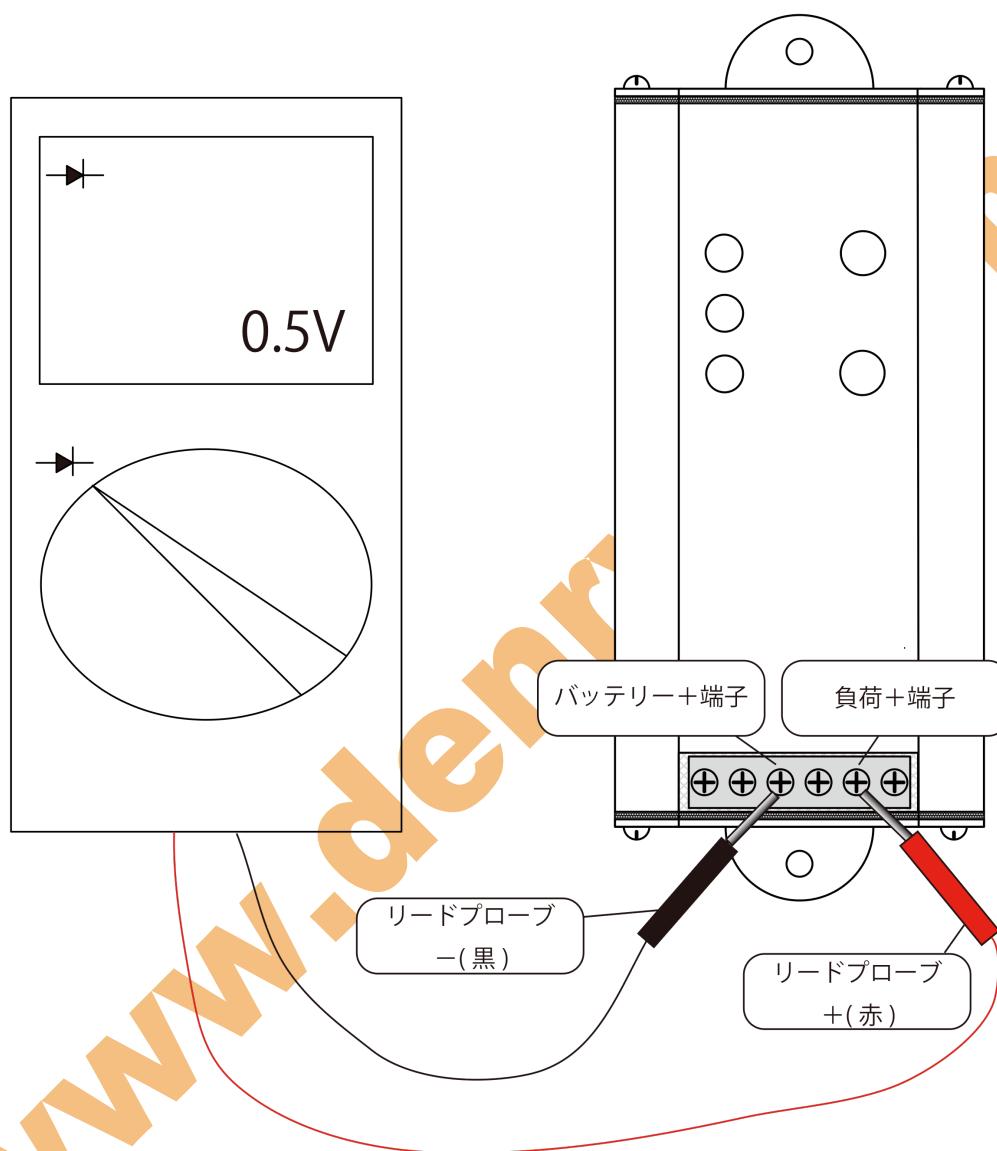


図1：ヒューズ確認方法

3：修理依頼、その他

ヒューズが溶断(切断)していた場合など、修理や動作に関する質問はお買い求めの販売店にお問い合わせください。